

## 〈 取付・設置説明書 〉

株式会社 ウッドワン フリーダイヤル  
お客様相談室 0120-641-265  
(キッチン専用フリーダイヤル)  
受付時間【平日・土日祝】9時～18時 ※年末年始・夏期休暇を除く

## 収納庫(カップボード)

このたびはウッドワンの商品を御利用いただき、誠にありがとうございます。  
取付・設置前にこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく取付設置されるようお願い致します。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

取付・設置される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、取付・設置においては、必ずお守りいただくことを次に説明しています。

- 表示内容を無視して誤った取り付けをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物理的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は図記号の一例です。)



この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この図記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



## 警告



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。  
落下して、けがの原因となります。



必ず行う

確実にキャビネットと壁面を固定する。  
キャビネットがあらかじめ間柱・補強材等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。



必ず行う

取付・設置は建築壁の構造を確かめて正しくおこなってください。  
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



必ず行う

キャビネットの固定には、必ず指定のねじ(ビス)を使用する。  
使用しないと、キャビネットが落下して、けがの原因になります。



必ず行う

取付時はヘルメット、安全靴などを着用する。  
着用しないと、キャビネットの角で頭を打ったり、落下物による打撲などの事故の原因となります。



必ず行う

下地材の材料仕様は住宅(建築物)との兼ね合いがあるので、  
現場監督・建築士などと相談のうえ、仕様を決定する。  
不適切な材料を使用すると十分な強度が得られず、落下し、事故の原因となります。



必ず行う

取付・設置完了後は、扉のかたむき・ガタつきや丁番のゆるみがないことを必ず確認する。  
扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、けがをすることがあります。



必ず行う

取り付け・仕上げに使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、  
それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。  
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。



禁止

扉や取っ手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎない。  
扉や取っ手が外れて、けがをすることがあります。



禁止

アッパーキャビネットの扉を開けたまま作業しない。  
頭を打ったり、収納物が落下して、けがをすることがあります。



必ず行う

取付・設置完了後は、扉のガタつき、丁番にゆるみがないことを必ず確認してください。  
扉の取付に異常があると、使用中に落下してけがをすることがあります。



必ず行う

取付設置で使用するねじを固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによる  
ねじの空回り、折れ、頭(スリワリ)つぶれのないようにする。  
固定ねじ用ねじがきかないと、キャビネットなどが落下してけがの原因となります。



必ず行う

カウンターと壁はシーリング剤で必ずシーリングする。  
シーリングが不完全な場合、水こぼれで壁および床を痛めることがあります。



必ず行う

ガラス扉は強化ガラス(熱処理ガラス)を採用していますが、破損した場合、破片に注意する。  
注意しないと、破片によりけがをすることがあります。

# 取付設置をする前に

## 【 壁面の取り付け下地材の確認 】



**警告**



必ず行う

- 壁面の取り付け下地材の位置を確認する。
- 壁面の下地材が強固に固定されていることを確認する。
- 下地材は虫食いや腐れのない木材をご使用ください。(大工工事)

下地材の取り付けが不完全な場合、キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。

## 【 建築壁について 】

- 建築壁には、かならず下地材(桧木、合板)を取り付けてください。(大工工事)
- 下地材が桧木の場合は堅木で虫食いや腐れのない木材、厚み30mm以上を使用してください。
- 建築壁には代表的なものとして以下の種類があります。

木質壁

軽量鉄骨壁

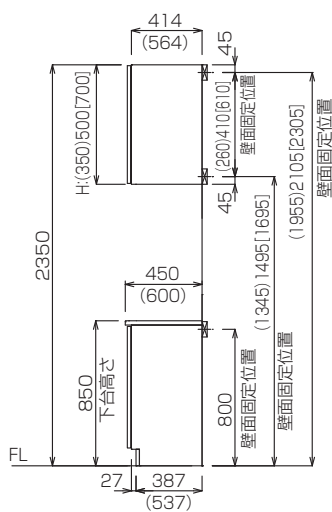
ALC壁

RC壁

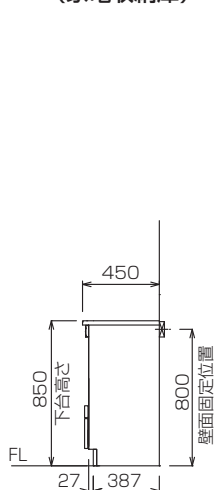
- 取付設置図面通りに、下地材(桧木・合板)などの工事が完了していることを確認する。

※修正が必要なものは、修正工事依頼をすること。

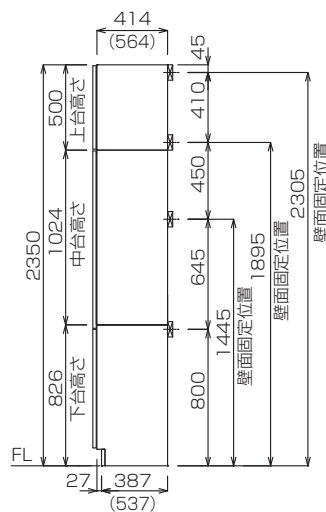
カウンタープラン



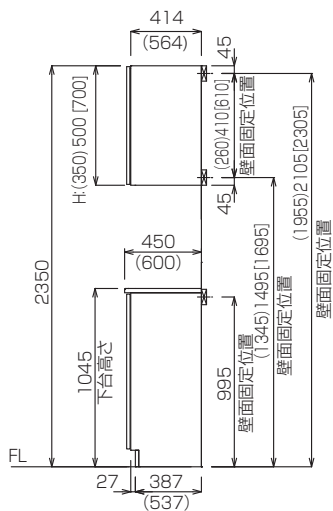
カウンタープラン  
(家電収納庫)



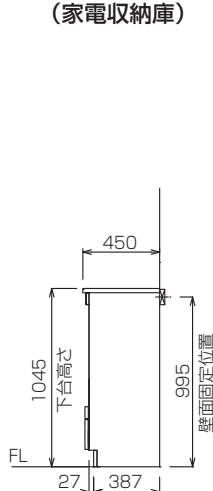
トールプラン



ハイカウンタープラン



ハイカウンタープラン  
(家電収納庫)



# 取付設置をする前に

## 下準備と確認

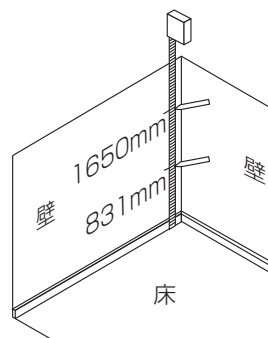
床・壁面・天井の直角と水平・垂直を確認してください。

- 水平・垂直基準の精度がでていないと、最終仕上がりが悪くなり安全性にも影響します。正確に基準線を設定してください。

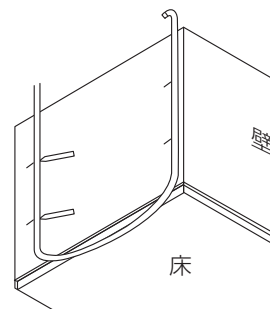
### ①水平基準の設定

水盛り管・水準器などを用いて、各壁面にアップパーキャビネットの下端面、ベースキャビネットの上面の基準点を2~3ヶ所取り、各基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

※床の一番高い所を基準としてください。



レイアウト図を参考に床面からキャビネットの下端の基準寸法を出す。

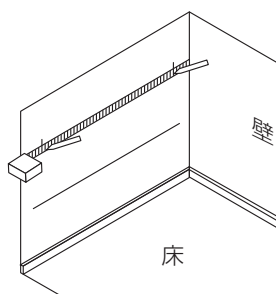


水盛り管・水準器を用いて基準点を出す。

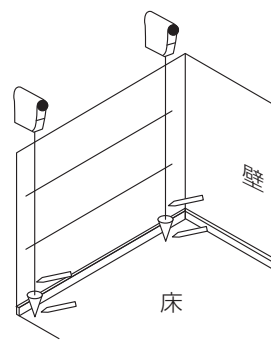
※上記基準寸法はカウンター高さ850およびアップパーキャビネット高さ700の場合。

### ②垂直基準線の設定

下げ振りを用いて壁面の角部と、取り付けキャビネット左右端の上下に基準点を取り、基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。



レイアウト図を参考に角部からキャビネットの左右の基準寸法を出す。



下げ振りを用いて壁・床面への基準点を出す。

## 部品の確認

各カウンター・キャビネット内に、基本セットの取り付けに必要な部品を同梱しています。取り付け始める前に必ず確認してください。

キャビネット・パネル連結ビス	キャビネット壁面固定ビス	棚受けダボ	カウンター固定ビス
寸法：ジョイントスクリュー 4×28 (化粧キャップ付)	寸法：皿コースレッド 4.5×65 (化粧キャップ・ワッシャー付)		トラスタッピング4×12
ベースキャビネット	ベースキャビネット		
アップパーキャビネット	アップパーキャビネット	数量：4個/棚板1枚につき	

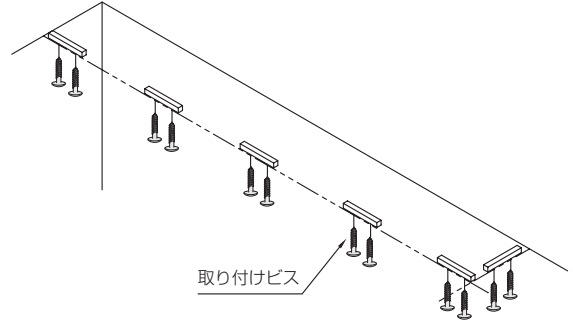
# アッパーキャビネットと天井幕板の取り付け

## 天井幕板固定棧の取り付け (天井幕板を取り付ける場合)

※天井幕板のつかないレイアウトもあります。

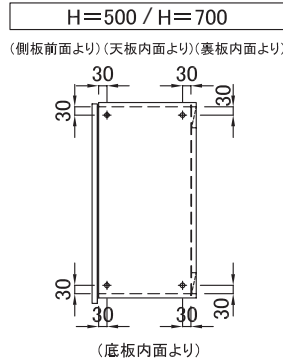
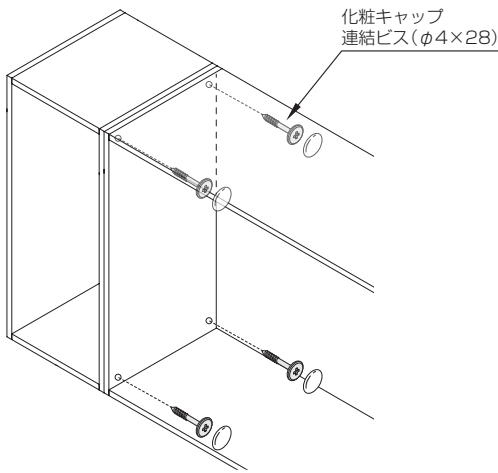
天井面に天井幕板固定棧をビスで取り付けてください。  
(固定棧および取り付けビスは現場調達)

キャビネット壁固定前に取り付けてください。



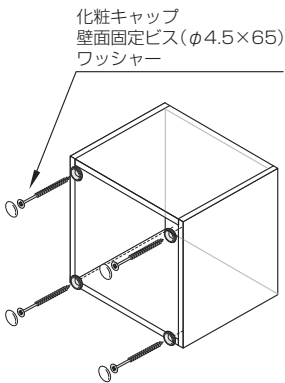
## アッパーキャビネットの取り付け

キャビネットの連結について



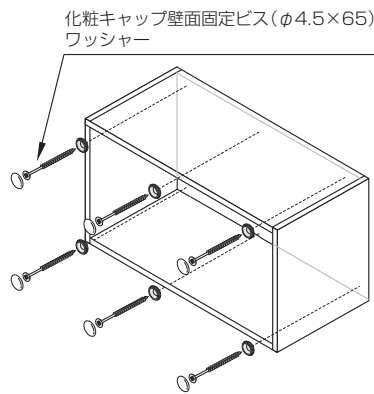
キャビネットの壁面固定について

### ●片開きの場合



※4か所固定します。

### ●両開きの場合

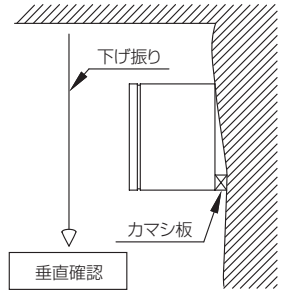


※6か所固定します。

# アップーキャビネットと天井幕板の取り付け

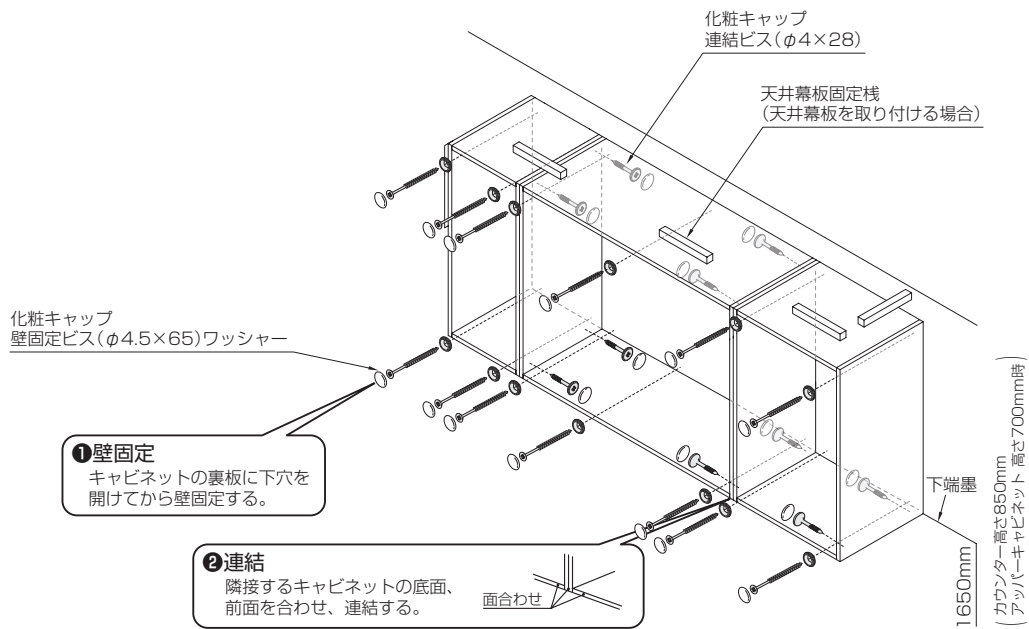
## 取り付け上のご注意

アップーキャビネットを取り付ける壁面に凹凸がある場合は扉に段違いが生じますので、下図のように下げ振りなどで垂直確認を行い、カマシ板（現場調達）などで調整を行ってください。



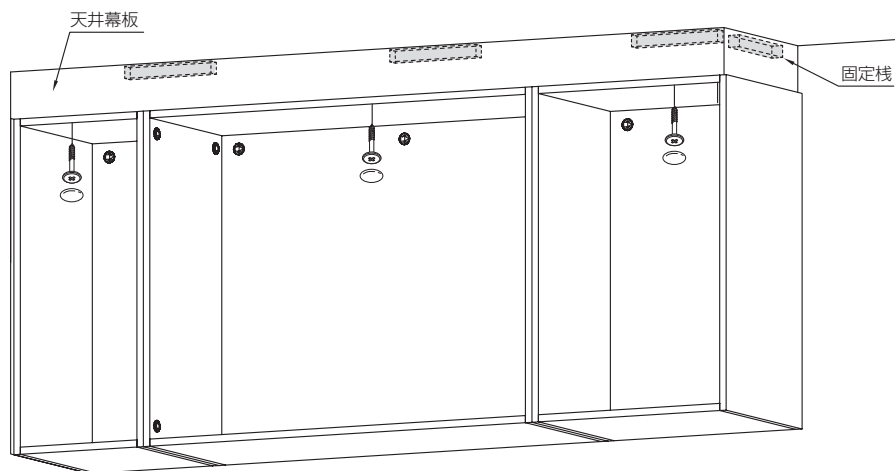
## アップーキャビネットの取り付け

キャビネット下端墨に合わせて、次の要領にて取り付けてください。



# アッパーキャビネットと天井幕板の取り付け

## 天井幕板のカットと取り付け



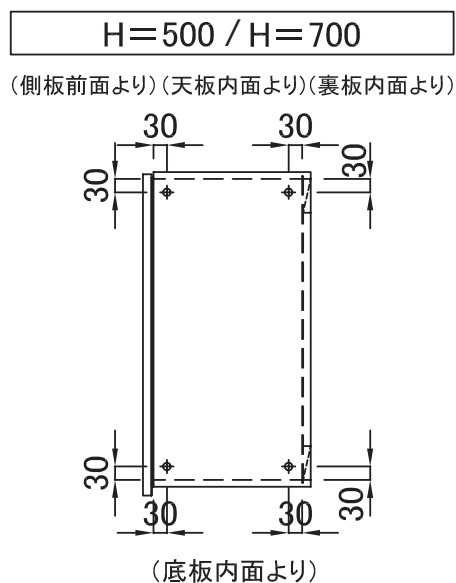
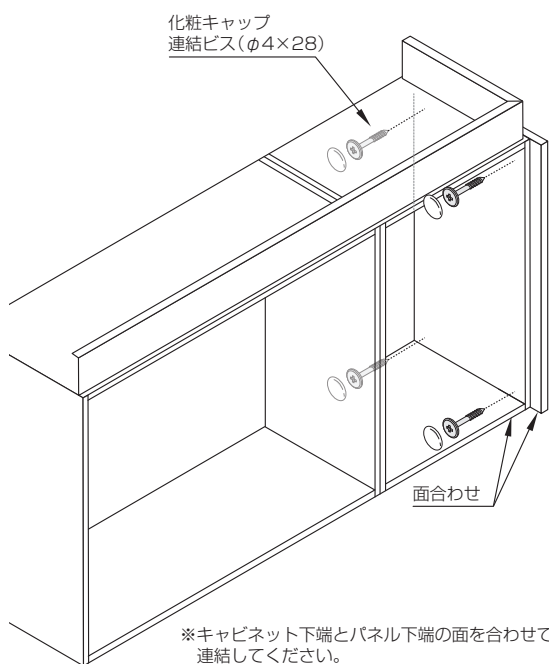
### 〈幕板の取り付け方法〉

- ①幕板固定枠の幕板取り付け側に接着剤を塗る。
- ②幕板がアッパーキャビネットの上に垂直にのるようにして、上部を幕板固定枠に貼り合わせる。
- ③アッパーキャビネットの天板内面より、ビスで固定する。  
(取り付けビスは現場調達)



## パネルの取り付け

- ①下図取り合いに合わせて、エンドパネルの位置を合わせてください。
- ②取り付けはキャビネット内側より連結ビスで止めてください。



# 収納庫キャビネットの取り付け

## 壁付け収納庫の取り付け・設置

### (1) キャビネットの連結

①隣のキャビネットと前面及び上面を併せて付属のジョイントスクリューでキャビネットを連結する。

### (2) 壁面固定

①製品の倒れ防止のため、背板に穴をあけて壁面に壁面固定ビスで固定する。

### (3) カウンタートップの連結

①カウンタートップを連結したキャビネットに載せる。  
②付属のタッピングネジで庫内よりカウンタートップを固定する。

### (4) パネルの取り付け

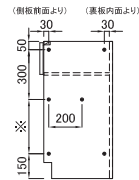
①パネルを付属のジョイントスクリューで固定する。

フロントパネルの取り付けが必要な場合、  
(3)、(4)を中間ボックス・フロントパネル取り付け後に行う。  
※中間ボックス・フロントパネル取り付け P9、10参照

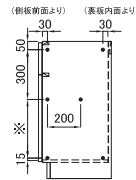
## 【連結ビス位置】

### ■ D450用

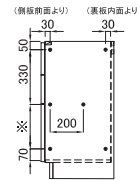
#### 1段引き出しオープン



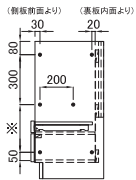
#### 1段引き出し開き



#### 3段引き出し

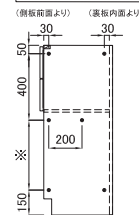


#### 家電収納1段引き出し

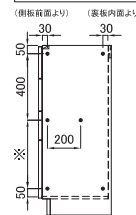


### ■ D450用 ハイカウンター

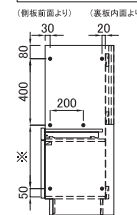
#### 2段引き出しオープン



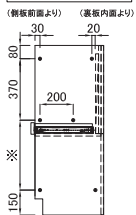
#### 4段引き出し



#### 家電収納1段引き出し

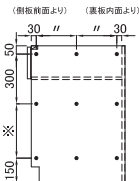


#### 家電収納オープン

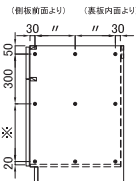


### ■ D600用

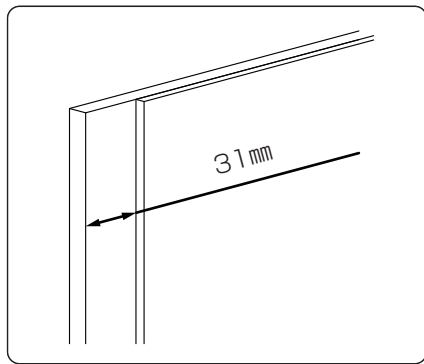
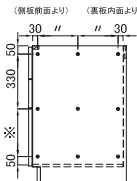
#### 1段引き出しオープン



#### 1段引き出し開き

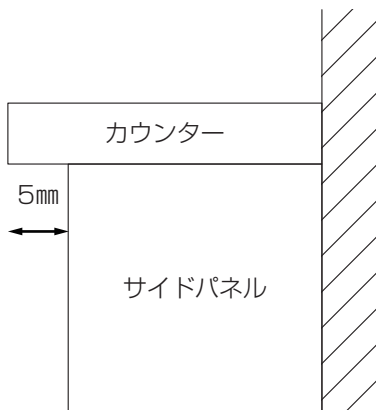


#### 3段引き出し



カウンター固定ビス  
トラスタッピングビス  
(φ4×12)

化粧キャップ  
壁面固定ビス  
(φ4.5×65)



カウンター納まり

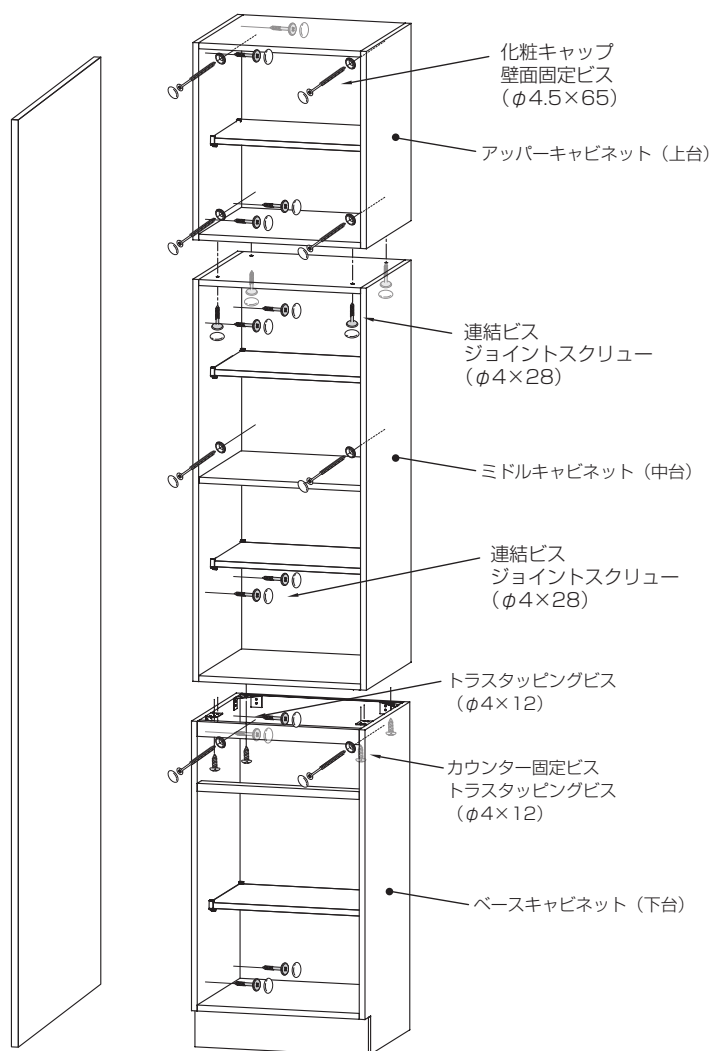
連結ビス  
ジョイントスクリュー  
(φ4×28)

# 収納庫キャビネットの取り付け

## トールキャビネットの取り付け・設置

### キャビネットの上下連結

- ①ミドルキャビネット(中台)をベースキャビネット(下台)の上に載せる。
- ②面合わせしミドルキャビネット(中台)の底面へベースキャビネット(下台)よりトラスタッピングねじ( $\phi 4 \times 12$ )で固定する。
- ③アッパーキャビネット(上台)をミドルキャビネット(中台)の上に載せる。
- ④面合わせしミドルキャビネット(中台)とアッパーキャビネット(上台)をジョイントスクリューで連結・固定する。
- ⑤キャビネット背面より壁面へ固定する。
- ⑥パネルを付属のジョイントスクリューで固定する。

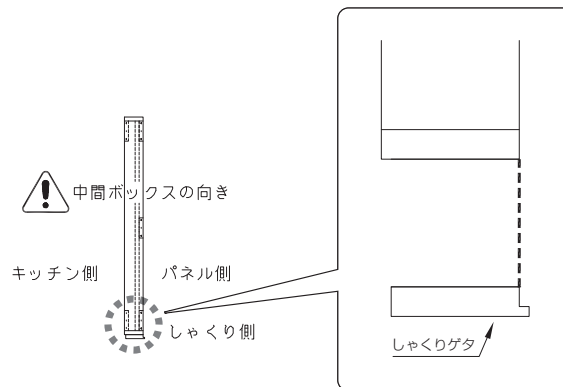
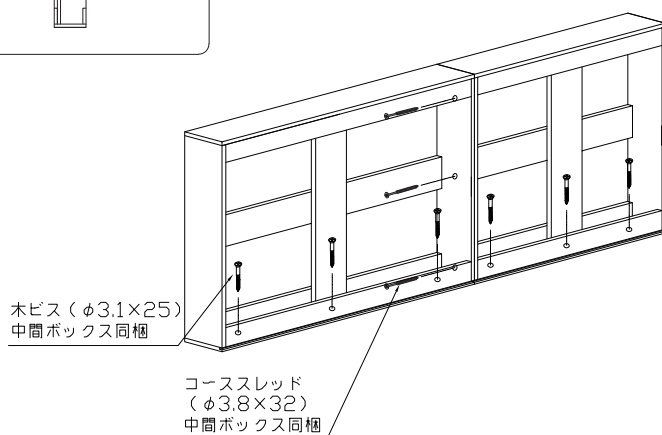
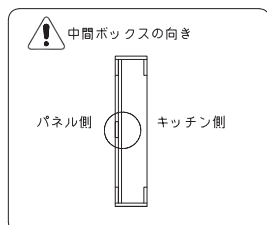




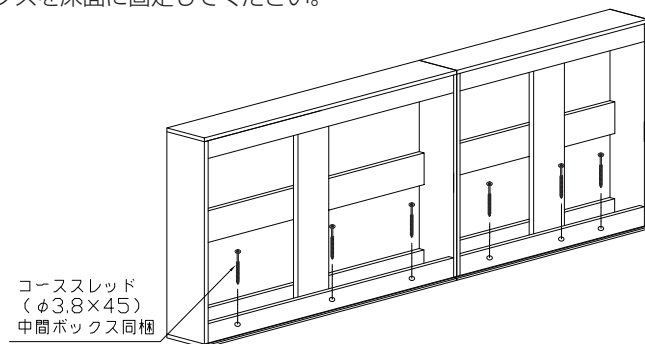
# 中間ボックス

## 中間ボックスの取り付け

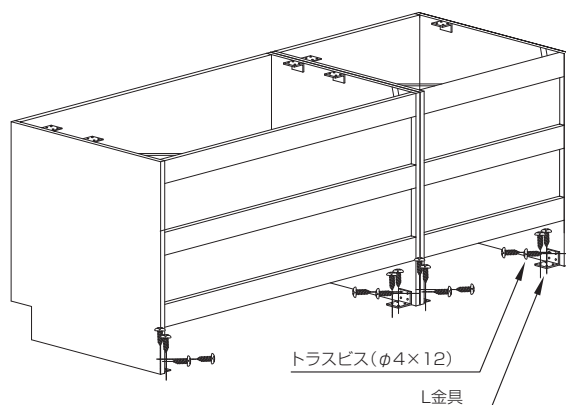
- ①中間ボックスとしゃくりゲタを取り付け、中間ボックスを連結してください。  
※取り付ける向きに注意してください。  
しゃくりゲタが無い場合は、中間ボックスの連結のみ行ってください。



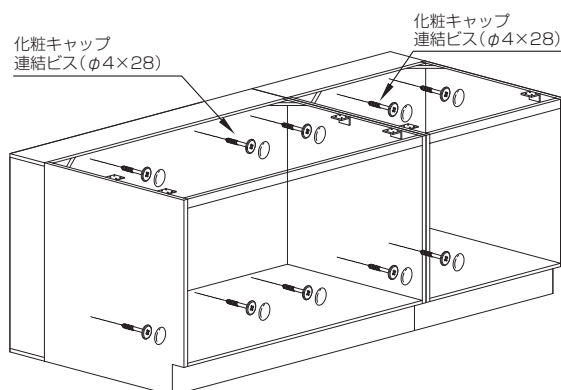
- ②中間ボックスを床面に固定してください。



- ③キャビネットと床面を固定してください。



- ④中間ボックスとベースキャビネットを固定してください。



# フロントパネルの取り付け

## フロントパネルの取り付け

①フロントパネルの向きに注意して、端から順番に仮置きして全長を確認します。

### ⚠ 注意

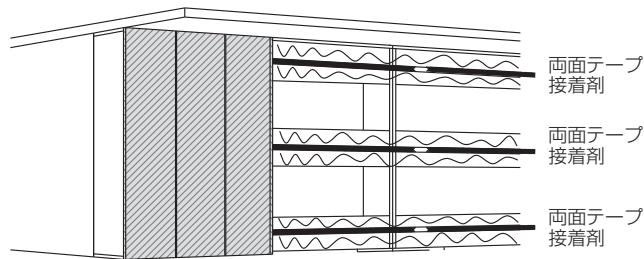
フロントパネルは濃淡や木目方向がバラバラ（連続にならない）になるように配置替えして調整してください。

②中間ボックスに両面テープを貼ってください。

③接着剤をまんべんなく塗布してください。

④2枚目からフロントパネルの間にスペーサーをはさみ、フロントパネルを固定してください。

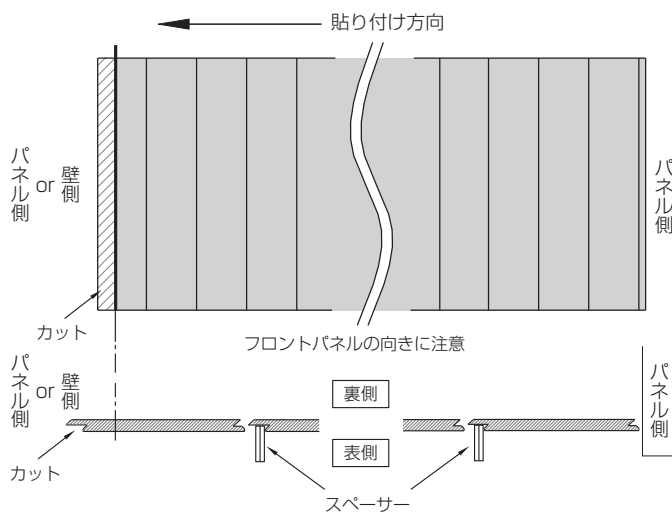
仮止め用の両面テープを貼った後に、接着剤をまんべんなく塗布してください。



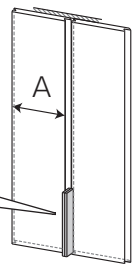
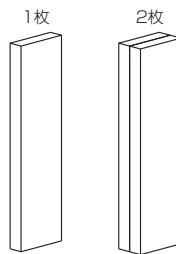
### ⚠ 注意

伸びを逃すためフロントパネルの間にスペーサーを用いてクリアランスを設けてください。

⑤最後のフロントパネルはカットして取り付けてください。



### スペーサー (フロントパネル同梱)



※フロントパネルサイズによって  
スペーサー厚が異なります。  
A寸法が50mmの場合、  
2.5mm厚のMDF1枚。  
A寸法が150mm幅の場合、  
2.5mm厚のMDF2枚。



# 開き扉の取り外しと取り付け・調整方法

## 警告



取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。  
使用中に落下してけがををするおそれがあります。

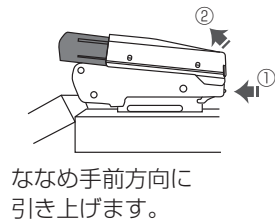
## 注意



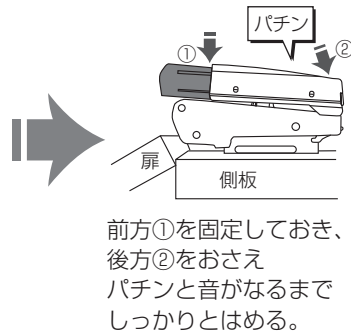
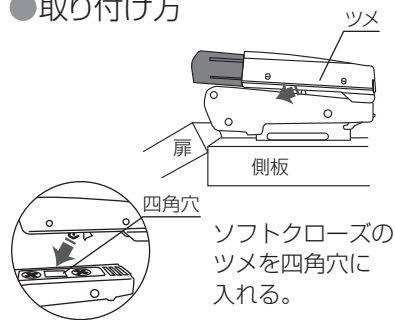
調整はハンドドライバーを使用してください。  
電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

## ソフトクローズの取り付けと取り外し

### ●取り外し方



### ●取り付け方



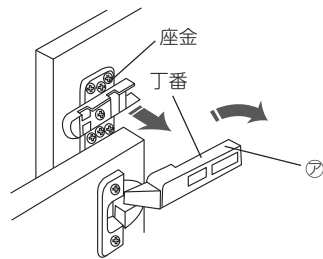
## 注意

無理な脱着は、部品破損原因になります。

## 開き扉の取り外しと取り付け

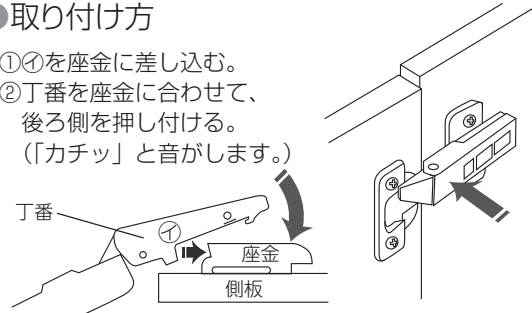
### ●取り外し方

扉をしっかり持ち、丁番の後方のレバー⑦をつまんで外す。



### ●取り付け方

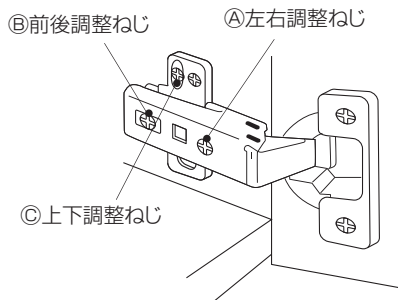
- ①①を座金に差し込む。
- ②丁番を座金に合わせて、後ろ側を押し付ける。  
(「カチッ」と音がします。)



## 開き扉(丁番)の調整

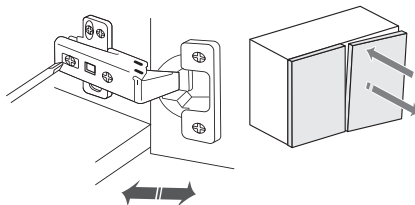
扉が傾いたり、がたついているときは、丁番で調整してください。

※イラストは右扉の場合です。左扉の場合は丁番が上下逆さになります。



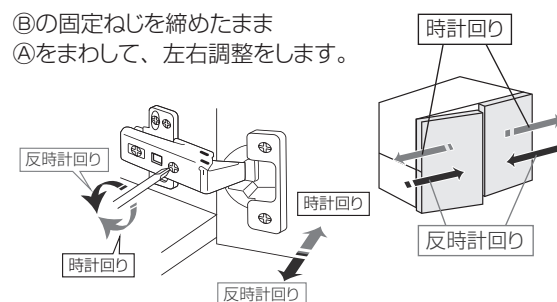
### 扉の前後調整

扉を取り付けた後③をゆるめて前後調整し、締めなおします。



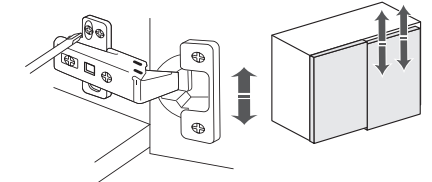
### 扉の左右調整

③の固定ねじを締めたまま④をまわして、左右調整をします。



### 扉の上下調整

⑤をゆるめて扉ごと上下調整をしたあと、締めなおします。



# 引出しの取り外しと取り付け

## ⚠ 安全上のご注意 (必ずお守りください)

必ず両手で引き出しを持って取り外すこと。ギャラリーパイプは持たないこと。  
落下してけがをするおそれがあります。

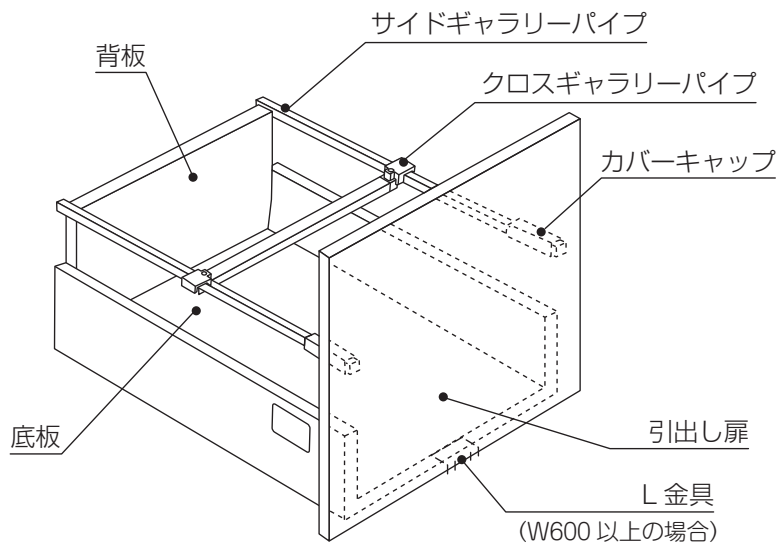
確実に引き出しが固定されているかを確認すること。

レールから外れて落下するおそれがありますので、必ず開閉を数回 (一番手前まで引き出し、最後まで押し込む) 実施して、確実に固定されていることを確認してください。

## 引出しの取り付けと取り外し

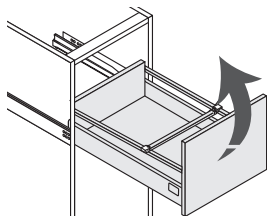
〈部品名称〉 注) 引出しのレールには2つのタイプがありますので、お使いのレールを確認の上ご覧ください。

### 【ベ어링レールタイプ】



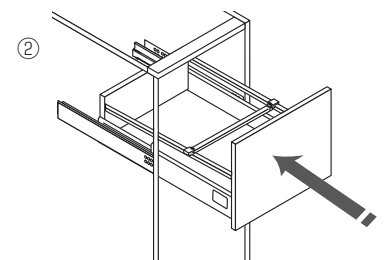
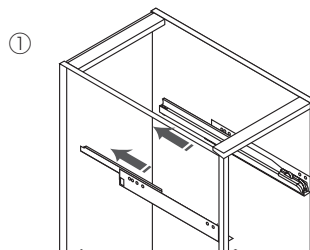
#### ●取り外し方

- ① 引出しを手前に出します。
- ② 引出しを上を持ち上げて引き抜きます。



#### ●取り付け方

- ① 左右のレールをキャビネット内におさめます。
- ② 引出しをレールの上に乗せて押し込みます。  
「カチャ」と音がしたことを確認します。



# 引出し扉の脱着【ベアリングレールタイプ】

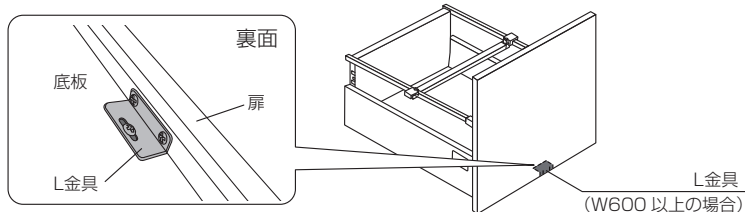
## ⚠ 調整時のご注意

### 【キャビネット間口600mm以上の場合】

引出し底板の裏にL金具がついていますので、固定ビスをはずしてから行ってください。

L金具：扉の反り防止用

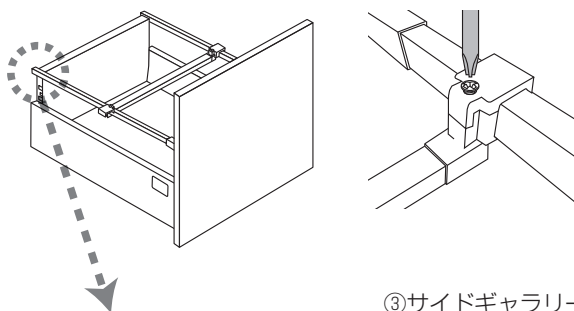
**重要：取り付け後（調整後）は必ずビスを取り付けてください。**



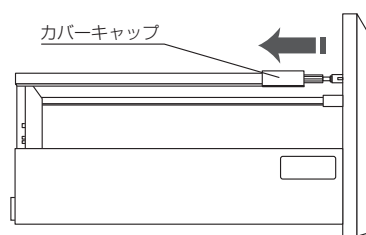
## 引出しの取り付けと取り外し

### ● ギャラリーパイプの外し方 ※付いてる場合

①クロスギャラリーパイプを外します。

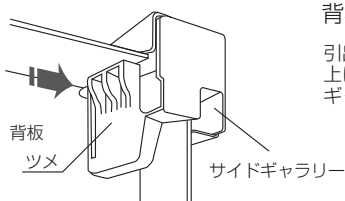


②カバーキャップを奥方向にスライドさせてください。

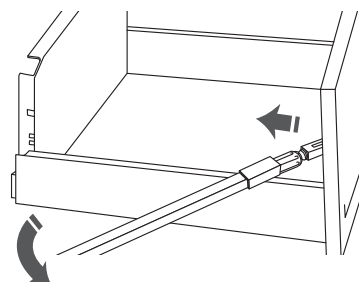


③サイドギャラリーを背板から取り外します。

引出しの後ろのツメを押しながら上に引き上げると、背板からサイドギャラリーが外れます。

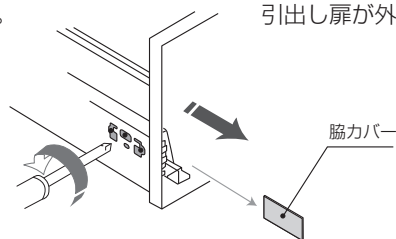


③ギャラリーパイプを倒して扉からダボを抜きます。

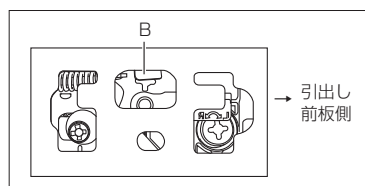


### ● 引出し扉の外し方

①引出し左右の脇カバーを取り外します。



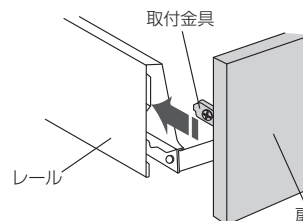
②B部に+ドライバーを差し込み、引出し後ろ側に止まるまでまわすと、引出し扉が外れます。



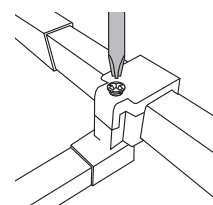
### ● 引出し扉の取り付け方

①扉の取付金具をレールに差し込みます。「カチッ」と音がします。

※取り付け金具が差し込めないときはB部の状態を確認してください。B部全体が見えていないときは、⊕ドライバーで引出し後ろ側に止まるまでまわしてください。

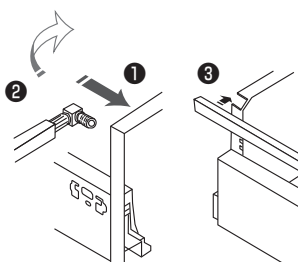


④クロスギャラリーを取り付けます。



### ● ギャラリーパイプ取り付け方

- ①ギャラリーパイプ先端ダボを前板下穴に入れます。
- ②パイプを引出し前板に対し、垂直に起こします。
- ③ギャラリーパイプ後端部を背板に押し付けて入れます。



# 引出し扉の調整

## 警告



必ずおこなう

取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。  
使用中に落下してけがをするおそれがあります。

## 注意



必ずおこなう

調整はハンドドライバーを使用してください。  
電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

## 調整時のご注意

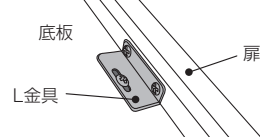
### 【キャビネット間口600mm以上の場合】

引出し底板の裏にL金具がついていますので、固定ビスをはずしてから行ってください。

L金具：扉の反り防止用

重要：取り付け後（調整後）は必ずビスを取り付けてください。

引出し裏面

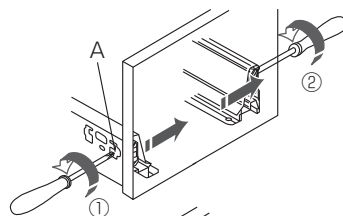


## 扉の調整【ベアリングレールタイプ】

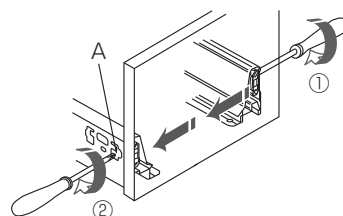
### ●左右の調整方法

ビスAを⊕ドライバーで調整します。  
(左右調整 ±1mm)

右へ1mm (調整範囲)

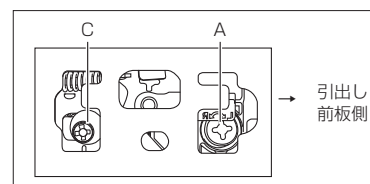
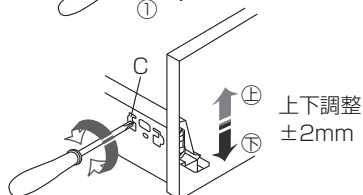


左へ1mm (調整範囲)



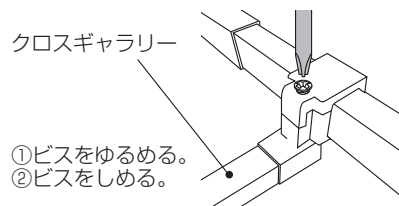
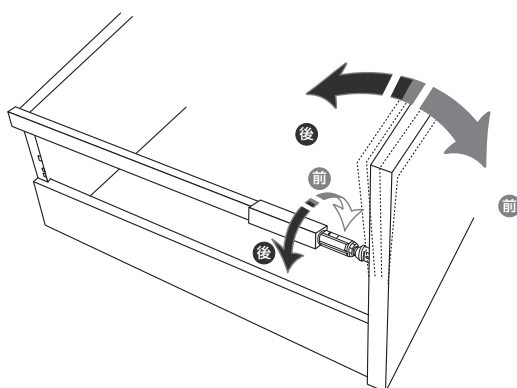
### ●上下の調整方法

ビスCを⊕ドライバーで調整します。  
(上下調整 ±2mm)



### ●引出し扉角度調整方法

- ①クロスギャラリ付きの場合は、ビスをゆるめます。
- ②サイドギャラリパイプをまわし、傾きを調整します。
- ③クロスギャラリのビスを締めます。



# オープンロック機構について

## ⚠ 注意



不安定な積みかたをしたり、転がりやすいものを入れたりしないでください。

- × 不安定な積み重ね
- × 缶詰の横置きなど

収納物が転がり落ちたり、地震発生時にオープンロック機構が動かず、けがの原因となります。

扉が完全に閉まらない状態で放置しないでください。

- × 収納物が扉に当たっている
- × 物が扉に挟まっている

地震発生時にオープンロック機構が動かず、けがの原因となります。



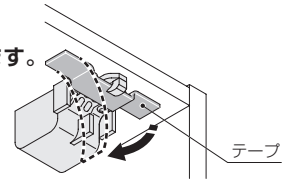
必ずおこなう

万一の地震に備えて、扉の位置を正しく保ってください。

扉にずれがあると、オープンロック機構が正常に動かず、けがの原因となります。

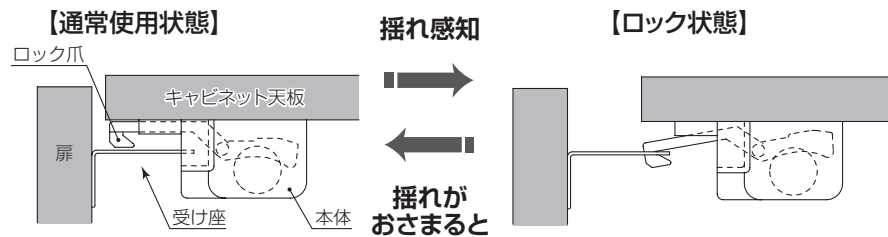
※扉にずれがある場合は、調整してください。

搬送中の破損防止対策として、**ロック爪をテープで固定しています。**  
組立・設置完了後、テープをはがしてください。



## ■特徴

地震などの揺れを感知すると、内部のボールの動きによりロック爪が下がった状態を維持しているため、扉が開かないようにロック状態となります。揺れがおさまると、ロック爪が上がりロックが解除されます。



## ⚠ 注意

※ご使用のオープンロック機構は、使用環境、または状況(建物の構造・階数、吊り戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質など)により、性能を十分発揮できない場合があります。

※収納物の破損(損害)等やオープンロック機構の動作については、賠償の対象にはなりませんのでご了承ください。

## オープンロック機構が働いた場合の解除時の注意点と解除方法

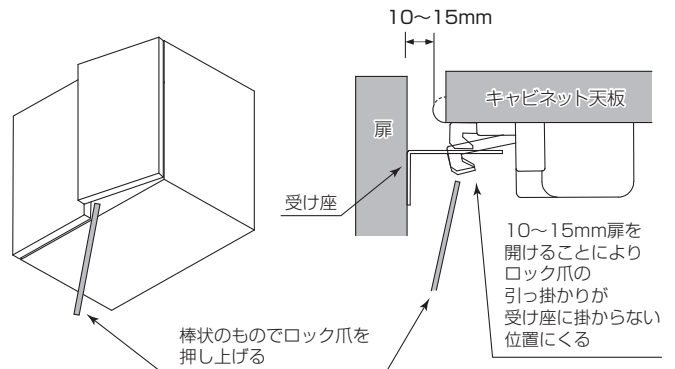
### ● 注意点

1. 扉に物が挟まっていないか確認してください。
2. 収納物が崩れ落ちないように注意して開けてください。
  - 地震が発生した場合、キャビネット内の収納物が不安定になっているおそれがありますので、ご注意ください。
  - 地震で躯体(壁や床など)にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。

### ● 解除方法 (右図参照)

オープンロック機構が自動で解除しない場合、次のような原因が考えられます。

- キャビネットの傾きによりオープンロック機構のロック爪が受け座に引っかかり扉が開きません。

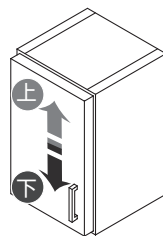


## 調整方法

### 〈扉を上下に調整した場合〉

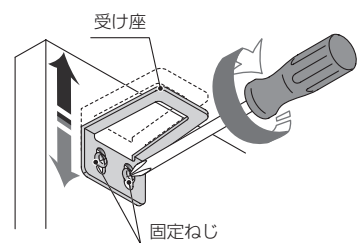
オープンロック機構の受け座の位置を調整してください。

- ① 固定ねじをゆるめる
- ② 受け座を上下にスライドさせて調整する  
受け座本体調整代(上:3.5mm 下:3.5mm)
- ③ 固定ねじを締める



扉を下に調整した場合  
受け座を上スライド

扉を上調整した場合  
受け座を下スライド

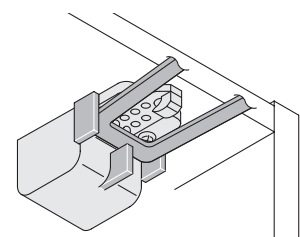


### 〈調整後の確認〉

#### 重要

**扉が完全に閉まるか必ず確認してください。**

- オープンロック機構の調整完了後、扉が完全に閉まるか確認してください。扉が完全に閉まれば調整は完了です。
- 扉が閉まらない場合や異音がある場合は再度、扉および受け座を調整して扉が完全に閉まるようにしてください。



# 養生

## 【養生(下記養生ポイント参照)】

- 収納庫取付後の設備、建築工事などで汚れたり・傷ついたりしないように厳重に養生しておいてください。
- カウンター・シンク面の養生は特に厳重に行ってください。
- 養生材は、梱包に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートなどを使うなどして保護してください。

